

## 田中復興大臣記者会見録

(令和2年1月22日(水) 11:45～11:51 於) 駿河台ビル1階多目的会議室)

### 1. 発言要旨

皆さん、こんにちは。本日、三井住友海上さんに岩手、宮城、福島県の産品を扱ったマルシェをこうやって盛大に開催していただきまして、感謝感激でございます。

三井住友海上さんには、被災地の事業者に対してさまざまな御支援をいただき、多くの皆さんを励ましていただきました。心から御礼を申し上げる次第でございます。

民間の資源を生かしつつ、引き続き復興に御協力いただければありがたいと思っております。

今日も、こうやって社員の方を中心に大勢の方に駆けつけていただきました。

今の現状を知っていただく、そして味わっていただく、できれば見ていただく、行っていただく、こんなことでさらにお力をいただければ幸いです。

「復興五輪」も近づいてまいります。聖火ランナーの皆さんも、多くの皆さんの注目を集めていくことだと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます、一言御挨拶いたします。ありがとうございました。

### 2. 質疑応答

(問) 三井住友海上さんを中心に、民間の方々に引き続き復興に御尽力いただいていることについて、改めて御所見をお願いいたします。

(答) 本当の復興というのは、やっぱり一般の皆さんにどれだけ復興に関心を持っていただくか、また、多くの皆さんが、なるほど復興したなというように肌身をもって感じていただくことだと思います。

そういう中では、やはり民間のお立場の方々にこうやっていろんな御協力をいただく、また、コラボレーションの輪が広がっていくということは尊いことでもありますし、我々が一番大切に考えておることでもございまして、ありがたく思っております。

(問) 3月で震災9年になりますけれども、首都圏だとこのような特産品の販売の機会というのが減ってきているのではないかというお声もあるのですけれども、このような機会の継続の重要性については、どのように考えていらっしゃいますか。

(答) 私たちも、首都圏も広いものですから、あちこちで御協力をお願いしております。

これからもまだ風評被害が決してなくはありませんので、本当に正しい知識を持っていただいて、すばらしい福島県、あるいは宮城、岩手、もちろんでございますけれど、味わっていただきたいし、できればぜひいろんなところで食材として使っていただきたいと思っております。

マルシェはじめ、いろんなところにこういう機会をつくっていただきたいし、販売もしていただきたいと思っております。

私もトップセールスをしたいと思っております。  
ありがとうございました。

(以 上)